

NPOひょうご思春期ピアカウンセリング研究会

ピアっ子通信 in ひょうご

〒651-2103 神戸市西区学園西町3-4 神戸市看護大学高田昌代研究室内

Tel&Fax 078 (794) 8077 E-mail peer_hyogo@yahoo.co.jp http://www.geocities.co.jp/peer_hyogo/

2014年度思春期ピアカウンセラー養成講座開催

思春期ピアカウンセリングとピアエデュケーションはともに、思春期ヘルスプロモーションの方策であり、若者が自分自身で人生のゴールを見つけ、それを生き生きと実現しようとしていく力を育てる健康教育手法である。

その能力とは、自分やパートナーの人生設計を壊さないように、性=生に関する意識や行動を自分で決められる能力のことをいい、性=生の自己決定能力と呼ぶ。



第11回目となる思春期ピアカウンセラー養成講座を6月～7月に開催しました。6月28日・29日・7月5日・6日の4日間に30時間の研修を神戸市看護大学で開催しました。

今年度は、神戸市看護大学、関西看護医療大学、京都橘大学に加え、新たに兵庫県立大学と甲南女子大学から参加者があり、26人の若者たちが集まりました。

多くの若者が集まり、活気がある中で先輩ピアとともに力を合わせて、講義やグループワークに取り組みました。仲間と深く話し合う中で、知識を身につけたり、初めて感じる心の動きに気づいたりしました。

第11期ピアっ子たちの活躍を期待します。

目次：

学習意欲をピアで支援 2

JICAアフリカ地域保健担当官研修 2

思春期ピアカウンセリング関係者研修会 2

2013年度活動実績 3

思春期ピアカウンセリングと大学でのサークル活動 4

メッセージ 4

新ピアっ子の感想・抱負

受講後のアンケートに記された新ピアっ子の数多い感想や抱負の中から一部を紹介します。

「楽しかった。講座を受ける前はもっと堅いイメージだったので、もっと多くの人に『ピアってこんなやで』と知って欲しいと思った」「最初は不安も大きかったけど、色々なことを話せて、仲間ができたからすごく嬉しかった」「こんなに自分を認め、そして相手をも認めることをしたのは初めてだった。皆それぞれで良くて、そしてそれは自分にも相手にも認められ

るべきものなのだと思うことができた」「今回参加して、自分が自分の人生や考えについてどう思っているか知ることができた」「今まで自分が思っていたことを人に言えなかったけど、自分は自分、相手は相手でいいんだ!と思えるようになった」「今まで、自分の意見はあまり言わないようにしていたけど、今回の講座で自分はどうか考えるかを周りに言って、相手と意見交換することの大切さを知ることができた」「自分のことを大切にしようと思えた。『仲間で考える』ことを大切にしたい」

学習意欲をピアで支援



ピアの手法で勉強する
意味に気づく支援を

神戸市垂水区で学習支援とあわせて学習する意欲を支援する事業が7月から始まりました。なぜ勉強しないといけないのかを自分自身で気づき、主体的・自発的に学習に取り組むことができるように支援する事業です。対象は小学校4年生から中学生です。

この事業に思春期ピアカウンセリングの手法が取り入れられ、ひょうごピアのピアっ子が活躍しています。ピアっ子の感想を紹介します。

垂水ピアでは、まず、昼食をピアに来てくれた子と一緒に食べます。その時に皆で会話するのですが、人数が少ないので一人ひとりと話し、お互いを深く知っていけるので、仲間という感覚でピアを進めることが出来ました。私は、そこが

垂水ピアの一番良いところだと思います。内容は、ハローウィンやクリスマスなどの行事や季節を取り入れて、ピアを考えていきました。対象が小学生・中学生なので、楽しんでもらえるように、その上でどうしたら私達の伝えたいことが伝わるかということを考えながら、ピアの計画を立てていくのは難しかったです。しかし、その分計画したことを、楽しかった、良かったと言ってもらえる、成功できたという達成感が味わえました。また、垂水ピアに何回も来てくれている子が、最初はためらいがちだったのですが、回数を重ねるにつれて、だんだんと積極的に話してくれるようになっていった時に、継続することの大切さとやりがいを感じました。

神戸市看護大学 藤本綾香（ピアネーム あやか）

JICAアフリカ地域保健担当官研修



JICAの研修員の方々にピアのデモンストレーション

8月15日(金)にJICA関西で受入れたアフリカの地域保健担当官の研修員に、思春期ピアカウンセリングを実際に体験してもらう研修を行いました。ピアっ子6人が参加しました。感想を紹介します。

JICAピアは私にとって初めてのピアっ子としての活動でした。知識も豊富の大人でかつ、言葉の壁を乗り越えられるのかとても不安でした。

しかし、ライフラインでは母国の戦争のことや日本とは違う家族のあり方を共有することで私自身新しい人生観を改めて学ぶことができました。

一方でアフリカの国の一部では学生で妊娠すると男女共に退学、と本人の

意思は関係なく決められているそうです。その中で私はあくまでピアは常識や考えを押し付けるのではなくその子自身がどうしたいかという考えを大切に、それを尊重するためにどうしていくのかを考えていくことが目的としているということを伝えられたのでは、と感じています。

これから先も数多くピアの活動に参加していくことになりませんが、このとき感じたピアの根底の考え方と経験を自分もピアをする相手の方々もひとりひとり大切な存在である事を伝えていきたいと思っています。

神戸市看護大学 重田あかね（ピアネーム あかね）

思春期ピアカウンセリング関係者研修会



思春期保健関係者が
多数参加

11月29日(土)に思春期ピアカウンセリング関係者研修会を「SNS社会における若者の健康被害」をテーマに、神戸市中央区の神戸国際会館で開催しました。

思春期保健関係者など35人の参加があり、被害が深刻にも関わらず、今ひとつよく分からないこのテーマについて学びました。

午前中は、朝日新聞大阪本社社会部記者の須藤龍也さんに事例を中心に実情をご講演頂きました。SNSに投稿され

た1枚の写真から、どうやって個人情報特定されていくのか、どんな被害が引き起こされているのかを知り、改めて、利用の気軽さとはかけ離れた実情に驚かされました。

午後は、グループに分かれて、SNSなどネットに関連して起こる被害の特性や、それに対して、私たち大人にできることについて、それぞれの体験も含めて意見を交換しました。

ひょうご思春期ピアカウンセリング研究会 2013年度活動実績

ピアカウンセラーの養成および関係者研修会の開催

第10回思春期ピアカウンセラー養成講座を神戸市看護大学ほかで開催しました。ベーシック講座は、2013年6月22日・23日・29日・30日に行い、12人が修了しました。そして、実践経験を踏まえ、2014年2月8日・9日にフォローアップ講座を行いました。

思春期ピアカウンセリング関係者研修会は、2013年11月30日に神戸市

中央区のあすてっぷKOBEで開催しました。

「思春期の発達障害について考える」をテーマに、関西学院大学文学部の米山直樹教授を講師にお招きし、思春期ピアカウンセリング関係者およびピアっ子51人の参加がありました。会場が満員になるほど参加者があり、熱気あふれる研修会となりました。



思春期ピアカウンセラー
養成講座
フォローアップ講座

ピアカウンセリング・エデュケーションの実践支援

ピアっ子たちの実践活動は、少人数グループを対象としたピアカウンセリング、多数を対象としたピアエデュケーションおよび啓発を目的としたデモンストレーションに分かれます。

2013年度は、ピアカウンセリングを62回、ピアエデュケーション1回、合計63回の活動を行いました。実施場所は、高校4校、中学校2校、その他2か所でした。延べ参加者は、1,962人になり、ピアっ子の延べ参加数は204人にのぼります。

第5回思春期ピアカウンセリング全国大会が2013年10月12日～13日に熊本県で開催され、ピアっ子3人と大人ピア1人が参加しました。

また、2012年度の関係者研修会で月経困難症をテーマとしましたが、関係者から思春期の若者たちの相談・治療を積極的に行っている医療機関がわからないと

【ピアカウンセリング実施状況】

学校名	参加者	ピアカウンセラー数
ピアサポートルーム名谷	希望者 延159人, 12回	延27人
ピアサポートルーム in スクール	希望者 延151人, 12回	延64人
神戸市立須磨翔風高校	2年生 延960人, 24回	延48人
篠山産業高校丹南校	3年生, 30人, 1回	3人
三田祥雲館高校	希望者, 36人, 3回	延20人
神戸市立有野北中学校	3年生, 212人, 6回	延24人
播磨町立播磨南中学校	2年生, 137人, 4回	延10人

【ピアエデュケーション実施状況】

学校名	参加者	ピアカウンセラー数
伊丹市立伊丹高校	2年生, 277人, 1回	8人

の声をあつため、当研究会でアンケート調査を行ってリーフレット「ちょっと話してみいひん？ 私のカラダ 生理のこと」にまとめました。相談活動に役立てていただくため、県内の高校などにお送りしました。



リーフレットを作成し、
県内の高校などに配布

会計報告

2013年度会計報告

(単位：円)

収入	1,453,578
支出	1,512,590
当期収支差額	△ 59,012
前期繰越金	78,795
次期繰越金	19,783

ピアっ子たちが活動するためには、地域の理解、環境整備、大人世代のバックアップは必須です。教育、医療、地域保健の関係者などたくさんの皆さんとともに力を合わせ、思春期の若者の性と生を支えたいと考えています。どうぞこの研究会にご参加ください。

年会費 個人会員3,000円 団体会員1口10,000円

思春期ピアカウンセリングと大学でのサークル活動

どんな活動も継続して活動していくためには組織化することが重要ですが、なかなか簡単なことではありません。ひょうごピアに参加している学生の中には、所属する大学でサークルを立ち上げているところがあります。サークル活動と認められることで、学内に拠点を持つことができたり、学校からの支援が受けられたりしています。神戸市看護大学では長年、サークル活動を続けていますし、京都橘大学、関西看護医療大学では最近、苦労の末、サークルができました。それぞれのピアっ子からのメッセージを紹介します。

こんにちは。神戸市看護大学ではK-spring peerというサークルでピアっ子は活動しています。活動内容は中学校、高校へ行って生と性について一緒に考えたり、月に一回ピアルームを中高生が多く集まるところで開いたり、今年の春からは学習支援の一環としてピアカウンセリングを取り入れ始めています。実際に私たちがピアっ子として大学生と触れ合う機会が少ないため、毎年春に授業1コマをお借りして1回生にピアカウンセリングを体験してもらったり、学園祭でピアルームを開いてピアっ子と触れ合う機会を作ったりして、サークルとしての活動が継続できるような工夫もしています。サークルだからこそのように学校の行事に参加できてピアっ子が今後も続いていく形ができていると私たちは感じています。またピアっ子としてみんなで仲良く活動していますが、先輩ピアがきちんとピアの進め方などを伝えていく形ができているので毎年継続したピアが行えているとも思います。

神戸市看護大学 新免遥香（ピアネーム ハルカ）

私は、ピア活動を重ねていく中で、自分の視野や仲間の輪が広がっていくことが、とても楽しく、自分の成長にも繋がることを実感しました。ピアは常に新鮮で、すればするほど刺激になり深まっています。この楽しさや素晴らしさをもっと多くの人に知ってほしいと思うようになりました。また、大学生の今しかできない活動を継

続・発展していくためには形にしていく必要があると考えました。大学への働きかけは、まずピアカウンセリングとは何かを知ってもらうことから始まりました。活動の理解を得ること、特に性に関する活動の説得に苦労しました。交渉を続け、やっとサークルになった時はとても嬉しかったです。他大学のピアっ子や先生方、サークル結成にご協力してくださった方々に、本当に感謝です。これから活動を確立していくために橋のピアっ子13人で頑張っていきたいと思います！！今後もよろしくお願いします。

京都橘大学 平岡華奈江（ピアネーム かなえ）

ひょうご思春期ピアカウンセリングを養成講座の案内で知り、どんなことをするんだろう、私にできることなら参加してみたいという気持ちで講座に参加しました。前期の養成講座が終了したとき、一緒に参加したメンバーからサークルにしようという話が持ち上がりました。私自身、サークルは「すでにあるもの」という考えしかなく「立ち上げる」という発想はありませんでした。立ち上げるとなるとワクワクする前向きな気持ちと本当にサークルにできるのかと不安な気持ちでした。それでもサークルとして立ち上げたい気持ちが勝ったのは、「仲間」がいてくれたからです。サークルにするという発想・賛同してくれたメンバーがいて、後押ししてくれたからこそ出来たことだと思います。サークルを結成してすぐに、学祭があったので参加しました。結成したばかりということもあり、準備から片付けまででんやわんやでしたが、みんなと協力し合って学祭に参加できました。そうすることでやっとサークルを結成した実感が湧きました。サークルを結成するまでは、ピア活動を行うために他大学の学生と一緒に活動する機会ばかりでした。結成後は、本学のメンバーだけの活動も可能になりました。今は、まずピアとは何かを、知ってもらおう・伝えていこうという初期の目標の段階にありますが、本学の学生のみならず近隣の中学・高校にピア活動を実施していくことが、これからの目標であり願望です。

関西看護医療大学 山本真（ピアネーム やまちか）

めっせーじ

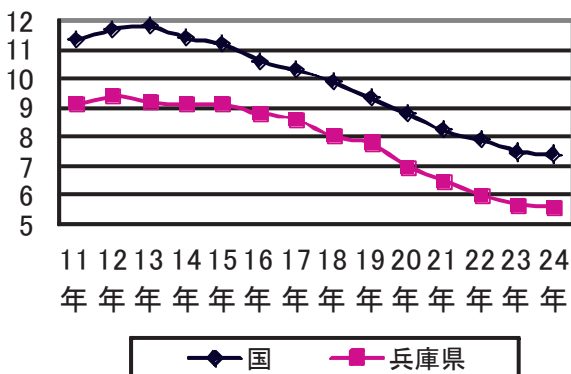
「ピアっ子たちの活動を支援くださいます皆様に感謝申し上げます。

今回で11期生のピアっ子が誕生しました。

すでに卒業した先輩ピアたちが社会の第一線で活躍し、新しいピアっ子たちの育成にも力を注いでくれている姿に、たくましさや心強さを感じています。

今後ともご支援の程よろしくお願い申し上げます。

人工妊娠中絶実施率
(15歳以上50歳未満女子人口千人対)



15～19歳の定点観測による性感染症の件数
(兵庫県及び神戸市)

